

### 1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	3972100360		
法人名	有限会社 マエダメディック		
事業所名	敬愛グループホーム		
所在地	香美市香北町美良布899		
自己評価作成日	平成28年1月6日	評価結果 市町村受理日	平成28年3月24日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

古い住宅が多い落ち着いた住宅街の中にあり、隣は中学校で近くに小学校や保育園もあり、地域の若い世代の人達とも交流を図りやすい環境にあります。実際に学校行事を見学させていただいたり、保育園の子供たちもホームのイベントの際はかわいい歌や手作りのプレゼントを持ってきてくれて、入居者の方も毎回楽しみにしておられます。ホームの建物の半分は以前診療所として使われていたものを改装して、グループホームとして利用しているので普通の家庭のような雰囲気があります。2年前に増築して2ユニットになりましたが、横並びでつながっているので行き来が自由で連携して見守りができ、入居者の方も隣のユニットで過されたり、一緒にレクリエーションをしたり交流の幅が広がります。スタッフは郡部の出身者が多く、ゆったりとした雰囲気があり、入居者の方々は家族のように生活しています。また、協力医が同敷地内に居住しており、夜間などの緊急時にも対応できるので、入居者やご家族の方にも安心していただいています。

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://www.kaijokensaku.jp/39/index.php?action_kouhyou_detail_2015_022_kihon=true&amp;JiryoSyvCd=3972100360-00&amp;PrefCd=39&amp;VersionCd=022">http://www.kaijokensaku.jp/39/index.php?action_kouhyou_detail_2015_022_kihon=true&amp;JiryoSyvCd=3972100360-00&amp;PrefCd=39&amp;VersionCd=022</a>
----------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	高知県社会福祉協議会
所在地	〒780-8567 高知県高知市朝倉戊375-1 高知県立ふくし交流プラザ
訪問調査日	平成28年1月18日

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

事業所は商店街に近い住宅地にあり、車両の通行が少なく安全に散歩を楽しんだり、少し歩いて買い物に出かけたりできる環境のなかにある。中学校や保育園にも近く、運動会を見に行ったり、クリスマスには保育園児が訪問してくれてプレゼントを交換している。また、地域のボランティアの来訪もあるなど地域交流を図っている。2ユニットはドアでつながり、利用者は行き来が自由で職員も見守りがしやすい構造になっている。2階の居室への移動は階段にリフトが設置されており、職員が見守りながら利用者が安全に昇降できるよう配慮している。また、協力医が同一敷地に居住していることから、夜間等緊急時にも対応でき、利用者、家族の安心につながっている。

# 自己評価および外部評価結果

ユニット名:A

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	<b>○理念の共有と実践</b> 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	毎月の職員会において、理念を振り返るようにしているが、職員一人一人が理念の意味するところを、自分の中に落とし込んで実践できるまでには至っていない。	「地域交流に努め、利用者の尊厳、食・住・健康等を守り、事業所が利用者にとって最良の場所となるよう取り組む」ことを理念に掲げ、職員会で理念を共有し、実践に向けた意識づけに努めている。職員の利用者への対応で注意すべき点があれば話し合い、理念を再確認している。	
2	(2)	<b>○事業所と地域とのつきあい</b> 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域のイベントには積極的に参加し、地域の方との交流が図れるよう支援している。馴染みの美容院へお連れすることで馴染みの関係を保てるよう支援している。	地区会に加入して管理者が地区の会合に参加し、地区の一斉清掃には職員が参加して地域住民と交流している。クリスマスには保育園児が事業所を訪れ、利用者とプレゼントを交換したり、地域のボランティアの訪問などを通じて地域交流を図っている。	
3		<b>○事業所の力を活かした地域貢献</b> 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	外出時や散歩の時にスタッフの対応を見て頂くことで、認知症の人でも落ち着いて普通に生活することが出来ることを理解して頂けるようにしている。		
4	(3)	<b>○運営推進会議を活かした取り組み</b> 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	ご家族や外部の方の参加は少ないが、活発な意見交換ができ、ホームにとって耳の痛いことも率直に意見を言って下さる良い関係性が出来ている。	会議は2カ月に1回開催し、市担当者や2～3名の家族が参加して活発に意見を交換している。会議で出された意見や要望をもとに、運営の改善に取り組んでいる。しかし、会議メンバーに地域代表の参加が得られておらず、また、会議録の周知が十分でない。	会議に民生委員や地区長、地区防災組織のメンバー等、幅広く地域代表の参加を呼び掛けて、地域に密着した意見の収集や、災害時の協力体制の構築にもつなげることや、併せて会議録の家族等への周知を期待したい。
5	(4)	<b>○市町村との連携</b> 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	ホームの運営で分からないことや困ったことがあれば、電話や訪問をして相談している。地域のケア会議にも参加し、協力関係を築くよう努力している。	地域包括支援センターが定期的開催する地域ケア会議に管理者が参加し、ケアサービスについて検討し協力関係を築くよう取り組んでいる。また、事業所運営で懸案があれば、気兼ねなく相談できる関係にある。	
6	(5)	<b>○身体拘束をしないケアの実践</b> 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	スタッフは身体拘束の基準を理解したケアを行っている。夜間を除いて、玄関の閉錠もしていない。	日中、玄関は施錠せず、チャイムと職員の見守りで、利用者の安全を図っている。安全のため日中も施錠を希望する家族には、拘束をしないケアの方針について説明し了解を得ている。職員に言葉による行動制限等が見られた時は、管理者がその場で注意している。	身体拘束の弊害をより深く理解するために、職員が定期的に外部研修を受講したり、所内で勉強会を開くことなどを期待したい。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		<b>○虐待の防止の徹底</b> 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされないよう注意を払い、防止に努めている	今年度はホームのスタッフの半分以上が虐待についての外部研修に参加しているが、言葉の使い方や強さ、トーンといったことまで意識してのケアは実践できていない。		
8		<b>○権利擁護に関する制度の理解と活用</b> 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	こちらの職員が理解しているとは言い難く、今後の課題の一つでもある。		
9		<b>○契約に関する説明と納得</b> 契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	ゆっくり、はっきり、分かりやすい平易な言葉で説明するように心がけている。不安や疑問には納得のいくまでお答えするようにしている。		
10	(6)	<b>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</b> 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	言葉だけではなく、表情や態度等から心の中にある思いを洞察し、汲み上げるような声かけやスキンシップをし、相手の気持ちになって物事を考え、行うようにしている。	利用者には日々の会話やケアを通して、真意を汲み取るように努め、家族には4カ月に1回家族会を開催し、意見や要望を聞いて日々のケアに反映させている。敬老会やクリスマス会には家族にも参加してもらい、交流を深めている。	
11	(7)	<b>○運営に関する職員意見の反映</b> 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月の職員会の機会や個人的にも意見を聞くようにしており、スタッフが気軽に自分の意見が言えるような関係性を築くよう心がけている。	管理者は職員が意見を出しやすい雰囲気づくりに努めており、職員会では運営に関することや個々のケアについて話し合い、職員の意見や提案を検討している。最近では、種々の情報を一覧できるようにチェック表を改善する提案があり、現在検討している。	
12		<b>○就業環境の整備</b> 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	個々の家庭や身体状況を理解しており、勤務内容の配慮や賃金でも資格や能力に応じた配慮をしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<b>○職員を育てる取り組み</b> 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修に積極的に参加し易い支援体制を整え、個々のスタッフがスキルアップを図ることが出来るようにしている。		
14		<b>○同業者との交流を通じた向上</b> 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域の事業所間で勉強会や研修を通じて交流を深め、スタッフのケアの質の向上に努めている。		
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<b>○初期に築く本人との信頼関係</b> サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前に家族が見学に来られた際やインタビューの際に丁寧に対応し、聞きたいことや不安に思っていることがあれば傾聴するよう努め、ご本人の価値観や生活歴を頭に入れておくことで、個々の人に合った言葉かけや対応を通じて信頼関係を築くよう努めている。		
16		<b>○初期に築く家族等との信頼関係</b> サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	不安や要望には出来得る限りお応え出来るように努めており、ご家族の気持ちを尊重することの大切さをスタッフ全員が理解できるよう努めている。		
17		<b>○初期対応の見極めと支援</b> サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居前後にご家族やご本人からアセスメントした情報をもとに、その人らしい生活が送れるよう努めている。		
18		<b>○本人と共に過ごし支えあう関係</b> 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	介護する側、される側ではなく、一人の人間として個々の人の個性や知識、経験を尊重し、一つの家族のように生活するように努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族の来設時には、必ずお声かけをして日ごろの生活の様子やスタッフの思いについて話し合い、ご家族もケアチームの一員として共にご本人を支えていける関係作りをしている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの美容院や病院、歯科にお連れしたり、近所の友人を訪ねる支援をしている。	利用者は家族や職員と一緒に、馴染みの美容院に出掛けたり、行きつけの商店に買い物に出かけている。近所に住む友人が面会に訪れ、会話を楽しむ利用者や、来訪した家族と一緒に、自宅への外泊や、温泉に出かける利用者もあり、関係継続を支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	フラットな2ユニットの環境を活かし、他のユニットの人とも交流出来るよう支援している。微妙な人間関係を観察して、席の配慮や声かけをしている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	現在のところ、退去後のフォローは機会がないが、今後は何かホームとして出来ることを考えていきたい。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	事前、事後また経過を追ってのアセスメントで情報を得、連絡ノートや日々の申し送りによってスタッフ間の情報共有が出来るようにしていきたい。困った時は考え方のベクトルをご本人に合わせるように努めたい。	家族からの聞き取りや利用者との日々の会話から、利用者の思いや意向の把握に努めている。把握の困難な利用者は表情や行動から汲み取るよう努めている。把握した思い等は、個人記録に記載している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	何気ない日常会話や、ご家族からの情報を積極的に把握するよう努め、ホームでの暮らしを出来るだけこれまでの生活スタイルに近づけられるよう努めたい。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
25		<b>○暮らしの現状の把握</b> 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々のバイタルチェックや、言葉や行動の観察に努め、心身が健康で過ごせるよう支援している。		
26	(10)	<b>○チームでつくる介護計画とモニタリング</b> 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	スタッフの力量の問題や教育指導が出来ておらず、チームでの実施は出来ていない。	利用者へのアセスメント、モニタリングは職員全体で検討できておらず、利用者や家族の要望が反映された介護計画ができていない。早急にアセスメントの見直しを行って、利用者、家族の思いに沿った介護計画を作成することになっている。	アセスメント結果や家族・利用者の意向等をもとに、職員全体で意見交換を行い、家族等の意向を反映した介護計画を早急に作成することを期待したい。
27		<b>○個別の記録と実践への反映</b> 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	出来事や数字の記入に偏っており、入居者の個性が見えるような記録は出来ていない。		
28		<b>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</b> 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	可能な限りは対応するよう努力しているが、マンパワーや時間が要求されるので現実的には難しい事が多い。		
29		<b>○地域資源との協働</b> 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	馴染みの理髪店や美容院に行けるよう支援している位で、個々の入居者の地域資源の把握は出来ていない。		
30	(11)	<b>○かかりつけ医の受診支援</b> 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	特に歯科受診が多く、個々に数カ月だけで10回以上の支援をしている。	入居時に利用者、家族に協力医療機関との医療連携を説明し、納得を得て協力医をかかりつけ医にしている。協力医から2週間に1回往診を受け、専門医の受診は原則家族対応とし、状況に応じて職員が付き添っている。受診結果は記録し、家族、職員、主治医で共有している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	日曜以外は協力医の往診があり、気になる利用者の状態を報告している。また、協力病院に電話で情報を伝えたり、医師にメールで相談したりして、速やかな医療的処置が受けられるよう支援している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	協力病院とは密接に連絡を取り合って早期の退院に備えている。また、時々様子を見に行くことで安心感を提供している。ホームから他の病院に移られた場合も文書で情報提供している。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	ご本人やご家族の意向や希望を伺いながら、協力病院と連携しながら、出来るだけご意向に沿った方法で支援を行いたい。ターミナル期には職員、ご家族で終末期のあり方について具体的に話し合い、相談を密にしていきたい。	入居時に、利用者の重度化時の事業所の対応について家族に説明している。以前には看取りの事例もあったが、現在は事業所の職員体制から終末期の対応が困難な状況である。重度化や終末期の状態になったときは、医療機関や他施設で安心して納得した最期を迎えられるよう支援している。	事業所の現在の「看取りに関する指針」に沿えるかどうか検討し、将来的な事業所の方針も見据えながら、家族等の要望に対応できるような体制の整備や職員の研修を実施していくことを期待したい。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急マニュアルを作成しているが、実践できるような研修や勉強会を実施できていない。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回は消防署の指導のもと、防災訓練を実施している。地域の避難所ともなることが予想されるので、食糧の備蓄もしている。	火災訓練は消防署の協力のもと、例年2回実施しているが、平成27年度は1回のみとなっている。現在は事業所だけの訓練になっているが、今後は地域の自主防災組織や民生委員等の参加、協力を得ながら定期的実施する予定である。非常用食糧等は屋外に保管しているが、量的に3日分に足りていない。	計画に沿って、防災に関する地域との協力体制を築くとともに、備蓄している非常用の食料について、県の防災マニュアル等を参考に3日以上量の確保と、消費期限の確認を期待したい。
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	何かを行う前には、言葉かけを行い人格を尊重するようにしている。トイレでは車椅子の方の排泄援助が難しく、ドアを開けざるを得ないことがある。	利用者の部屋に入るときは必ずノックと声掛けを行うこととし、トイレ誘導や入浴介助の声掛けはプライバシーを損ねないよう配慮している。車いすの利用者の排泄時にトイレのドアを閉め切れない時は、カーテンで目隠しするなど工夫している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
37		<b>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</b> 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	飲み物や衣服の選択やご本人のペースで過せる暮らし等、その都度、お聞きするように努めている。		
38		<b>○日々のその人らしい暮らし</b> 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その日の体調や思いに留意し、ご自分のペースで過せるよう努めている。		
39		<b>○身だしなみやおしゃれの支援</b> その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	入居者の好みに合わせ、スタッフのさりげない配慮や気配りでカバー出来ている。地元の馴染みの美容師さんに来てもらい、定期的に散髪をしてもらっている。		
40	(15)	<b>○食事を楽しむことのできる支援</b> 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	現在は、一緒に食事の準備を行うことは出来ていない。個人の好みに合わせて献立を変更したり、食形態を変えたりしている。見た目からも食欲をそそるよう盛り付けにも配慮している。	法人系列の配食会社から料理の配達を受け、盛り付けを各ユニットで職員が行っている。盛り付けを工夫したり、必要に応じてペースト状に形態を変える等の手を加え、近隣住民から野菜等の差し入れがあれば、利用者の希望を聞いて調理するなど、食事が楽しみになるよう努めている。	
41		<b>○栄養摂取や水分確保の支援</b> 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	チェックシートで摂取量の確認を行い、適切な栄養や水分が摂れているか把握している。		
42		<b>○口腔内の清潔保持</b> 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎回口腔ケアの支援が出来ているのは極一部の入居者の方だけで、多くは夕食後のみの支援となっている。		
43	(16)	<b>○排泄の自立支援</b> 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	チェックシートで個々の人の排泄パターンを把握し、失敗がないよう支援するように努めている。	排泄チェックシートで一人一人の排泄パターンを把握し、個々に排泄を支援している。夜間におむつを使用している利用者も、日中はできるだけトイレで排泄できるよう声掛けして、機能が低下しないよう努めている。	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		<b>○便秘の予防と対応</b> 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎朝、乳酸菌飲料かヨーグルトを提供している。便秘傾向のある人には水分を多めに摂っていただいたり、緩下剤の処方してもらっている。		
45	(17)	<b>○入浴を楽しむことができる支援</b> 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそうした支援をしている	寒い季節には足浴やかけ湯をしながら洗体を行い、その時々体調や気分に合わせて、ご本人の出来ることであっても臨機応変に支援している。	浴室に十分な広さがなく、利用者の希望に全面的に沿うことが難しいが、午前の時間帯に少なくとも週2回は入浴している。入浴ができない時は清拭で対応している。入浴を拒否する利用者には、言葉かけや対応を工夫して入浴できるよう支援している。	入浴の時間配分や職員体制を検討し、出来るだけ利用者の希望や生活習慣に沿って入浴が支援できるように取り組むことを期待したい。
46		<b>○安眠や休息の支援</b> 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	ご本人の希望や様子を見ながら、自由に休息して頂いている。足の冷える方には湯たんぽを用意している。		
47		<b>○服薬支援</b> 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬のセットは薬局の支援を受けている。2重、3重の確認を行い間違いがないよう注意している。服薬時は飲み込みを確認している。		
48		<b>○役割、楽しみごとの支援</b> 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個々の趣味や楽しみごと、得意なことが出来るよう努めている。		
49	(18)	<b>○日常的な外出支援</b> 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	散歩や買い物等、支援は出来ていても特定の入居者に偏っている。	馴染みの美容院に出かけたり、買い物に出かける利用者はいるが、日常的に散歩や外出ができていない利用者は、少数の特定の利用者になっている。	外出による利用者の気分転換を図るためにも、特定の利用者しか外出ができていない理由を分析し、車いすでも行ける事業所周辺の散歩等、短時間でも戸外に出かけられるような支援を期待したい。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<b>○お金の所持や使うことの支援</b> 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	現在、ご自分でお金を所持しているのは3人のみ。置き忘れてたりして無くなることもあり、その他の方は金庫でお預かりしている。		
51		<b>○電話や手紙の支援</b> 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	電話の支援はしているが手紙は書けていない。		
52	(19)	<b>○居心地のよい共用空間づくり</b> 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居者にお聞きしながら温度調整や換気を行い、気持ちよく過せるよう配慮している。季節感を感じさせるような演出はクリスマスや正月、花見の頃等に限定されている。季節の花を飾ることもある。	食堂兼居間は日当たりがよく、利用者の団らんの場所になっている。居間以外にも、一人で静かにくつろげるようソファやテレビを配置している。2階の居室への移動には階段にリフトを設置し、職員が見守り、安全に移動している。しかし、共用空間の清掃が十分には行われていない。	居間等の清掃の日程や時間を検討し、より清潔感のある空間になるよう配慮を期待したい。
53		<b>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</b> 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	馴染みの物をご自由に持ってきていただいて、落ち着いて過せるように支援している。		
54	(20)	<b>○居心地よく過ごせる居室の配慮</b> 居室は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ベッドの位置やポータブル等安全で使いやすいように配置するよう心がけている。ご家族に相談しながら馴染みの物を持ってきていただくこともある。	それぞれの居室には自宅から持ち込んだダンスやパイプハンガー、椅子、テーブルなど置かれ、壁には家族の写真や友人からの手紙が飾られて居心地良く過ごせるように工夫している。	
55		<b>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</b> 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	トイレの表示をしたり、2、3人で静かにテレビを見ることの出来るスペースも設けている。2階の居室に行くために電動リフトを設置している。下肢筋力に不安があっても安全に上がりおり出来るようにしている。		

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目)							
項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)		1. ほぼ全ての利用者の	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)		1. ほぼ全ての家族と
		○	2. 利用者の2/3くらいの			○	2. 家族の2/3くらいと
			3. 利用者の1/3くらいの				3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんど掴んでいない				4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)		1. 毎日ある	64	グループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)		1. ほぼ毎日のように
		○	2. 数日に1回程度ある			○	2. 数日に1回程度
			3. たまにある				3. たまに
			4. ほとんどない				4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)		1. ほぼ全ての利用者が	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)		1. 大いに増えている
		○	2. 利用者の2/3くらいが				2. 少しずつ増えている
			3. 利用者の1/3くらいが			○	3. あまり増えていない
			4. ほとんどいない				4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)		1. ほぼ全ての利用者が	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)		1. ほぼ全ての職員が
		○	2. 利用者の2/3くらいが			○	2. 職員の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)		1. ほぼ全ての利用者が	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う		1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが			○	3. 利用者の1/3くらいが
		○	4. ほとんどいない				4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)		1. ほぼ全ての利用者が	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う		1. ほぼ全ての家族等が
		○	2. 利用者の2/3くらいが			○	2. 家族等の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)		1. ほぼ全ての利用者が				1. ほぼ全ての利用者が
		○	2. 利用者の2/3くらいが				2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどできていない

# 自己評価および外部評価結果

ユニット名：B

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	<b>○理念の共有と実践</b> 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	毎月の職員会において、理念を振り返るようにしているが、職員一人一人が理念の意味するところを自分の中に落とし込んで実践できるまでには至っていない。		
2	(2)	<b>○事業所と地域とのつきあい</b> 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域のイベントには積極的に参加し、地域の方との交流が図れるよう支援している。馴染みの美容院へお連れすることで馴染みの関係を保てるよう支援している。		
3		<b>○事業所の力を活かした地域貢献</b> 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	外出時や散歩の時にスタッフの対応を見て頂くことで、認知症の人でも落ち着いて普通に生活することが出来ることを理解して頂けるようにしている。		
4	(3)	<b>○運営推進会議を活かした取り組み</b> 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	ご家族や外部の方の参加は少ないが、活発な意見交換ができ、ホームにとって耳の痛いことも率直に意見を言って下さる良い関係性が出来ている。		
5	(4)	<b>○市町村との連携</b> 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	ホームの運営で分からないことや困ったことがあれば、電話や訪問をして相談している。地域のケア会議にも参加し、協力関係を築くよう努力している。		
6	(5)	<b>○身体拘束をしないケアの実践</b> 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	スタッフは身体拘束の基準を理解したケアを行っている。夜間を除いて玄関の閉錠もしていない。		

7		<p><b>○虐待の防止の徹底</b></p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>今年度はホームのスタッフの半分以上が虐待についての外部研修に参加しているが、言葉の使い方や強さ、トーンといったことまで意識してのケアは実践できていない。</p>		
8		<p><b>○権利擁護に関する制度の理解と活用</b></p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>この職員が理解しているとは言い難く、今後の課題の一つでもある。</p>		
9		<p><b>○契約に関する説明と納得</b></p> <p>契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>ゆっくり、はっきり、分かりやすい平易な言葉で説明するように心がけている。不安や疑問には納得のいくまでお答えするようにしている。</p>		
10	(6)	<p><b>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</b></p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>言葉だけではなく、表情や態度等から心の中にある思いを洞察し、汲み上げるような声かけやスキンシップをし、相手の気持ちになって物事を考え、行うようにしている。</p>		
11	(7)	<p><b>○運営に関する職員意見の反映</b></p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>毎月の職員会の機会や個人的にも意見を聞くようにしており、スタッフが気軽に自分の意見が言えるような関係性を築くよう心がけている。</p>		
12		<p><b>○就業環境の整備</b></p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>個々の家庭や身体状況を理解しており、勤務内容の配慮や賃金でも資格や能力に応じた配慮をしている。</p>		

13	<p><b>○職員を育てる取り組み</b></p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>外部研修に積極的に参加し易い支援体制を整え、個々のスタッフがスキルアップを図ることが出来るようにしている。</p>		
14	<p><b>○同業者との交流を通じた向上</b></p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>地域の事業所間で勉強会や研修を通じて交流を深め、スタッフのケアの質の向上に努めている。</p>		
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>				
15	<p><b>○初期に築く本人との信頼関係</b></p> <p>サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>入居前に家族が見学に来られた際やインテークの際に丁寧に対応し、聞きたいことや不安に思っていることがあれば傾聴するよう努め、ご本人の価値観や生活歴を頭に入れておくことで、個々の人に合った言葉かけや対応を通じて信頼関係を築くよう努めている。</p>		
16	<p><b>○初期に築く家族等との信頼関係</b></p> <p>サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>不安や要望には出来得る限りお応え出来るように努めており、ご家族の気持ちを尊重することの大切さをスタッフ全員が理解できるよう努めている。</p>		
17	<p><b>○初期対応の見極めと支援</b></p> <p>サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>入居前後にご家族やご本人からアセスメントした情報をもとに、その人らしい生活が送れるよう努めている。</p>		
18	<p><b>○本人と共に過ごし支えあう関係</b></p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>介護する側、される側ではなく、一人の人間として個々の人の個性や知識、経験を尊重し、一つの家族のように生活するように努めている。</p>		

19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>ご家族の来設時には、必ずお声かけをして日ごろの生活の様子やスタッフの思いについて話し合い、ご家族もケアチームの一員として共にご本人を支えて行ける関係作りをしている。</p>		
20	(8)	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>馴染みの美容院や病院、歯科にお連れしたり、近所の友人を訪ねる支援をしている。</p>		
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>フラットな2ユニットの環境を活かし、他のユニットの人とも交流出来るよう支援している。微妙な人間関係を観察して、席の配慮や声かけをしている。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取組み</p> <p>サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>現在のところ、退去後のフォローは機会がないが、今後は何かホームとして出来ることを考えていきたい。</p>		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>事前、事後また経過を追ってのアセスメントで情報を得、連絡ノートや日々の申し送りでスタッフ間の情報共有が出来るようにしていきたい。困った時は考え方のベクトルをご本人に合わせるように努めたい。</p>		
24		<p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>何気ない日常会話やご家族からの情報を積極的に把握するよう努め、ホームでの暮らしを出来るだけこれまでの生活スタイルに近づけられるよう努めたい。</p>		

25		<p><b>○暮らしの現状の把握</b></p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p>	<p>日々のバイタルチェックや言葉や行動の観察に努め心身が健康で過ごせるよう支援している。</p>		
26	(10)	<p><b>○チームでつくる介護計画とモニタリング</b></p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>スタッフの力量の問題や教育指導が出来ておらず、チームでの実施は出来ていない。</p>		
27		<p><b>○個別の記録と実践への反映</b></p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>出来事や数字の記入に偏っており、入居者の個性が見えるような記録は出来ていない。</p>		
28		<p><b>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</b></p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>可能な限りは対応するよう努力しているが、マンパワーや時間が要求されるので現実的には難しい事が多い。</p>		
29		<p><b>○地域資源との協働</b></p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>馴染みの理髪店や美容院に行けるよう支援している位で、個々の入居者の地域資源の把握は出来ていない。</p>		
30	(11)	<p><b>○かかりつけ医の受診支援</b></p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>特に歯科受診が多く、個々に数カ月だけで10回以上の支援をしている。</p>		



31		<p><b>○看護職との協働</b></p> <p>介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>日曜以外は協力医の往診があり、気になる利用者の状態を報告している。また、協力病院に電話で情報を伝えたり、医師にメールで相談したりして、速やかな医療的処置が受けられるよう支援している。</p>		
32		<p><b>○入退院時の医療機関との協働</b></p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>協力病院とは密接に連絡を取り合って早期の退院に備えている。また、時々様子を見に行くことで安心感を提供している。ホームから他の病院に移られた場合も文書で情報提供している。</p>		
33	(12)	<p><b>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</b></p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>ご本人やご家族の意向や希望を伺いながら、協力病院と連携しながら、出来るだけご意向に沿った方法で支援を行いたい。ターミナル期には職員、ご家族で終末期のあり方について具体的に話し合い、相談を密にしていきたい。</p>		
34		<p><b>○急変や事故発生時の備え</b></p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>緊急マニュアルを作成しているが、実践できるような研修や勉強会を実施できていない。</p>		
35	(13)	<p><b>○災害対策</b></p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年2回は消防署の指導のもと、防災訓練を実施している。地域の避難所ともなることが予想されるので、食糧の備蓄もしている。</p>		
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	<p><b>○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保</b></p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>何かを行う前には、言葉かけを行い人格を尊重するようにしている。トイレでは車椅子の方の排泄援助が難しく、ドアを開けざるを得ないことがある。</p>		

37		<p><b>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</b></p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>飲み物や衣服の選択やご本人のペースで過せる暮らし等、その都度、お聞きするように努めている。</p>		
38		<p><b>○日々のその人らしい暮らし</b></p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>その日の体調や思いに留意し、ご自分のペースで過せるよう努めている。</p>		
39		<p><b>○身だしなみやおしゃれの支援</b></p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している</p>	<p>入居者の好みに合わせ、スタッフのさりげない配慮や気配りでカバー出来ている。地元の馴染みの美容師さんに来てもらい、定期的に散髪をしてもらっている。</p>		
40	(15)	<p><b>○食事を楽しむことのできる支援</b></p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>現在は、一緒に食事の準備を行うことは出来ていない。個人の好みに合わせて献立を変更したり、食形態を変えたりしている。見た目からも食欲をそそるよう盛り付けにも配慮している。</p>		
41		<p><b>○栄養摂取や水分確保の支援</b></p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>チェックシートで摂取量の確認を行い、適切な栄養や水分が摂れているか把握している。</p>		
42		<p><b>○口腔内の清潔保持</b></p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>毎回口腔ケアの支援が出来ているのは極一部の入居者の方だけで、多くは夕食後のみの支援となっている。</p>		
43	(16)	<p><b>○排泄の自立支援</b></p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている</p>	<p>チェックシートで個々の人の排泄パターンを把握し、失敗がないよう支援するように努めている。</p>		

44		<p><b>○便秘の予防と対応</b></p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>毎朝、乳酸菌飲料かヨーグルトを提供している。便秘傾向のある人には水分を多めに摂っていただいたり、緩下剤の処方をしてもらっている。</p>		
45	(17)	<p><b>○入浴を楽しむことができる支援</b></p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている</p>	<p>寒い季節には足浴やかかけ湯をしながら洗体を行い、その時々体調や気分に合わせて、ご本人の出来ることであっても臨機応変に支援している。</p>		
46		<p><b>○安眠や休息の支援</b></p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>ご本人の希望や様子を見ながら、自由に休息して頂いている。足の冷える方には湯たんぽを用意している。</p>		
47		<p><b>○服薬支援</b></p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>薬のセットは薬局の支援を受けている。2重、3重の確認を行い、間違いがないよう注意している。服薬時は飲み込みを確認している。</p>		
48		<p><b>○役割、楽しみごとの支援</b></p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>個々の趣味や楽しみごと、得意なことが出来るよう努めている。</p>		
49	(18)	<p><b>○日常的な外出支援</b></p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している</p>	<p>散歩や買い物等、支援は出来ていても特定の入居者に偏っている。</p>		

50		<p><b>○お金の所持や使うことの支援</b></p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>現在、ご自分でお金を所持しているのは3人のみ。置き忘れたりして無くなることもあり、その他の方は金庫でお預かりしている。</p>		
51		<p><b>○電話や手紙の支援</b></p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>電話の支援はしているが手紙は書けていない。</p>		
52	(19)	<p><b>○居心地のよい共用空間づくり</b></p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入居者にお聞きしながら温度調整や換気を行い、気持ちよく過せるよう配慮している。季節感を感じさせるような演出はクリスマスや正月、花見の頃等に限られている。季節の花を飾ることもある。</p>		
53		<p><b>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</b></p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>馴染みの物をご自由に持ってきていただいて、落ち着いて過せるように支援している。</p>		
54	(20)	<p><b>○居心地よく過ごせる居室の配慮</b></p> <p>居室は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>ベッドの位置やポータブル等、安全で使いやすいように配置するよう心がけている。ご家族に相談しながら馴染みの物を持ってきていただくこともある。</p>		
55		<p><b>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</b></p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>トイレの表示をしたり、2、3人で静かにテレビを見ることの出来るスペースも設けている。2階の居室に行くために電動リフトを設置している。下肢筋力に不安があっても安全に上がりおり出来るようにしている。</p>		

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目)							
項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)		1. ほぼ全ての利用者の	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)		1. ほぼ全ての家族と
			2. 利用者の2/3くらいの				2. 家族の2/3くらいと
		○	3. 利用者の1/3くらいの			○	3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんど掴んでいない				4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある	64	グループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)		1. ほぼ毎日のように
			2. 数日に1回程度ある				2. 数日に1回程度
			3. たまにある				3. たまに
			4. ほとんどない				4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)		1. ほぼ全ての利用者が	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)		1. 大いに増えている
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 少しずつ増えている
		○	3. 利用者の1/3くらいが			○	3. あまり増えていない
			4. ほとんどいない				4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)		1. ほぼ全ての職員が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 職員の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが			○	3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)		1. ほぼ全ての利用者が	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う		1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが			○	3. 利用者の1/3くらいが
		○	4. ほとんどいない				4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う		1. ほぼ全ての家族等が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 家族等の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが			○	3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)		1. ほぼ全ての利用者が				
			2. 利用者の2/3くらいが				
		○	3. 利用者の1/3くらいが				
			4. ほとんどいない				